

## 第4回日本複合材料合同会議 出張報告書

作成日：2013/03/20

文責：同志社大学大学院  
理工学研究科 機械工学専攻  
構造工学研究室 M1 豊田 万希子

学会名：第4回日本複合材料合同会議 (JCCM-4)

主催：日本複合材料学会，日本材料学会

開催期間：2013年3月7日から9日

開催場所：東京大学本郷キャンパス工学部2号館

研究題目と発表者：微細ポリマー繊維を添加したエポキシ平板中に埋没させた炭素繊維束を横切るき裂進展に関する研究

豊田 万希子，河合 江美，大窪 和也，藤井 透

同道者：大窪 和也，藤井 透

発表形式：講演 (20 分間)

学会 HP: <http://www.jsccm.gr.jp/conference/jccm-4/index.html>

私は2013年3月7日～9日に東京大学で開催された，日本複合材料学会，日本材料学会主催の第4回日本複合材料合同会議 (JCCM-4) に参加しました。下記にその詳細を記します。

《大阪から会場へ移動》

3月5日に私的な用事があり，また7日に開始時間である10時から学会に参加する為に，3月5日午前には大阪駅を出発し，新幹線を利用して東京駅まで移動しました。東京駅から御茶ノ水駅まで，JR線移動し，会場が近くにあるホテルに向かいました。7日会場の最寄り駅である東大前まで，東京メトロ線を利用して移動しました。

《第4回日本複合材料合同会議 (JCCM-4) に参加》

第4回日本複合材料合同会議は複合材料に関する科学技術の進歩発展およびその普及を目的とする学会です。参加者らは，電気抵抗を利用した炭素繊維強化プラスチック (Carbon Fiber Reinforced Plastic: CFRP) のき裂の検証などの研究内容を発表していました。私は微細ポリマー繊維を添加したエポキシ平板中に埋没させた炭素繊維束を横切るき裂進展に関する研究について発表しました。発表後の質疑応答では，他大学の教授から三つ程質問されました。初めの方には，実験結果について質問されました。実験結果のスライドでの私の説明が詳しくなかった為に，結果の意味を分かって頂けていませんでした。また二人目の方に，考察について質問されました。微細繊維を添加した場合，母材中の複数のき裂同士の間を抑制する為，平織CFRPの疲労寿命が向上されたという私の考察に対して，その方は別の考察を意見されました。私は，それに対して正確な返答ができませんでした。この

経験を踏まえ、私は他人により理解していただける発表ができるよう、心がけていきたいと思いました。次の発表の機会までに、研究室の学生と発表練習をより重ねていきます。また質疑応答で自らの考えを確実に答えられるよう、研究に今以上に取り組み、勉強に専念します。

#### 《東京観光》

学会前日、発表が上手くいくよう祈願する為に明治神宮に行き、参拝しました。明治神宮は代々木公園と隣接しており、鬱蒼と茂った常磐の森も散策しました。とても美しい風景を東京で味わい、学会発表前にとっても緊張していましたが、気分転換をすることができました。

#### 《会場から大阪に帰省》

今回、次の日に大学で講義内の発表があった為、自らの発表が終わった後、すぐに東京を発ちました。その為、他の学生との交流ができなかった事が残念でした。午後9時には大阪に到着しました。

最後になりましたが、このような素晴らしい機会を与えてくださった藤井先生、大窪先生および当研究室の皆様に深く感謝いたします。



Fig.1 学会が開催された東京大学



Fig.4 散策した森



Fig.2 発表中の私



Fig.5 明治神宮



Fig.3 聴講中の私



Fig.6 東京の夜の街